



子ども会は
『子どもが自主的に様々な体験を通じて
自分らしさを発揮する、地域における
異年齢集団活動の場』です。

市子連の研修

市子連では、「単位子ども会の活性化」や「子ども会の本来のあり方」をめざして、
育成者と子どもの両方を対象に研修をしています。

市子連だより

第4号

一緒にしゅいや！子ども会

発行所 米子市子ども会連合会
米子市東町161-2
米子市教育委員会生涯学習課内
発行日 平成18年7月



親と子の共育ち

《育成者研修》

○ブロック別研修会（子ども会の概要、安全会制度、事業計画などの説明）

5会場で延べ337名の参加があり、活発で和やかに話しあいました。

○鳥取県子連研修へ参加・・・5/14（日）

米子から2名参加し「子ども会って何？」のテーマで研修を受けました。

○育成者実技研修・・・6/11（日）

大山青年の家でハイキング、飯ごう炊飯、テント設営、ネイチャーゲーム
など、14名が参加し楽しく研修しました。

○子ども会年間計画の立て方・・・1/21（日）

《子ども会リーダー育成研修》 単位子ども会で実践！地域のリーダー

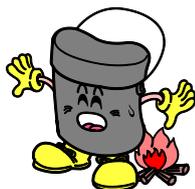
米子市子ども大会！

みんなで作り上げよう



市内の小学5、6
年生34名が参加
しています。

ひろげよう！
みつけよう！
やってみよう！



キャンプ！自ら行動・協力

沖縄交流！

異文化体験

こどものみんなへ

子ども会で活動するときに、心がけてほしいことを考えました。やってみましょう！

その1 友達をいっぱいつろう！ 違う地域、学校や学年の交流の輪を広げよう。

その2 行動はてきぱきと！ 遊ぶときとみんなで行動するときのケジメをつけよう。

その3 安全と健康に気をつける！ ムリはだめだよ。

その4 自分からすすんで行動しよう。自分のことは自分でしよう。

その5 来た時よりも美しく！ 次の人も気持ちよく使えるように

その6 その日の終わりにその日の活動の楽しかったこと、

発見したことなどをふりかえてみよう。

その7 感謝の気持ちをもとう



子ども会活動を効果的に行うために...

下の「心得」は、子ども会リーダー育成研修に関わるすべての育成者のために、子ども達が自主的に活動するための「育成者のルール」としてまとめたものです。この研修に限らず、子ども会活動に参加する誰もが、常に活動の目的（ねらい）を頭において参加する事が大切だと考えています。

心得！

↓ ↓ いくつあてはまるかチェックしてみましょう ↓ ↓

子どもたちの自主性を育てるために・・・

手も口も出さず、自主的な活動をしっかり見守る。

子どもたちの主体性を守りましょう。大人の考えの押しつけを避けるためです

話を最後まで聞いてから答える。

話を途中で制しない。きちんと話ができる子どもにしましょう。

答えを求められても自分で考えるように促す。

なるべく本人の「気づき」を大切に話した話し方で接してください。

子どもたちの考えたことを認める。否定しない。決めつけない。

自分を基準にした否定や決めつけをしないように（あなたの考えが違うのかも？）

安全・安心・自由をいつも心にとめ、子どもたちの人格を尊重した態度で接する。

育成者としての向上のために・・・

批判だけをしない。

やり方を批判するのは構いませんが、いずれの批判も目的を達成するための批判であるべきです。「今はこのやり方だけどうしたらどうか？」といった建設的批判をお願いします。

一人で判断せず、みんなに知らせる。（報告・相談・連絡）

だいたいこうしたもんだ…子どもにはこうして言えばよい…など、個人が考えていることが正しいかどうかわかりません。一人での判断（意見）は避け、複数の人に相談してから行動（発言）しましょう。また、情報共有のためにもみんなに伝えるようお願いします。

緊急の場合はこの限りでない。即時判断し対応してください。

様々なアクシデントが予想されます。緊急性を判断し行動してください。